

## 2回の練習後に Zoom 遠隔集会を開催

2020年8月28日版 By 三上吉彦

これはインターネット上で遠隔地の複数の人たちと集会をするために Zoom 社の Zoom アプリ無料版を使う際の案内書です。1950年代に大型コンピューターの一般化が始まって以来、パソコンやインターネットやソーシャル・メディアの出現で人々間のコミュニケーションが大いに進歩したあと、それが動画と音声の一体化でさらに進歩する面白い時代になりましたね。趣味のグループ、同窓会、広がってしまった自分の大家族でいろいろ使ってみてください。

### 内容

A. Zoom 集会に必要な環境.....	1
B. 練習1:Zoom 参加者になってみる.....	2
C. 練習2:Zoom ホストになってみる.....	3
D. 本番:遠隔集会を正式に開催する.....	3
E. Zoom とその他の遠隔集会ツール.....	4

以下は上のような内容で、Zoom ホストができる人を増やすという目的で書いています。私のノートパソコンと Chromebook による経験談なので、もし iPad やタブレットや携帯電話などの端末を使っていれば、多少違った経験になると思います。また、Zoom 参加者になるだけに興味ある人は、A. と B. だけを読んでください。

### A. Zoom 集会に必要な環境

まず、カメラとマイクが付いた端末が必要で、最近のノートパソコンや iPad・タブレットにも付いています。デスクトップ・パソコンには通常付いてないので、電気店でカメラとマイクがセットになった機器を買って付けることが必要で、昔 Skype を使う時にそうして用意しましたよね。携帯電話は画面が小さいので、Zoom 集会に参加はできるが、Zoom ホスト (Zoom 集会を開催する人) になるのは難しい。カメラが両面にある端末は、自撮りにしておいてください。

また、Zoom を使う際のインターネットは WiFi (無線 LAN) または単に LAN へ接続させることが必要で、普通速度 300Mbps 契約で充分です。屋外で歩きながら利用できる携帯電話会社のインターネットは論理上使えるが、速度が遅すぎると、月間の流量が 1 あるいは数 G バイトの契約なので、使わない方がいいです。新幹線の WiFi ではうまく接続できましたが、騒音があるのでマイク付きイヤホンの Bluetooth 接続が必要です。

## B. 練習 1 : Zoom 参加者になってみる

あなたが単に遠隔集会の参加者になる練習です。すでに Zoom を使っている人を友達または友達の友達に見つけて、練習させてもらいましょう。彼らは（私を含めて）通常こうした遠隔集会を流行らせたいと思っている人が多いで、それを頼りに Zoom ホストをやってくれるように頼みましょう。

まず E メールが Zoom ホストから送られてきて、何という集会が何月何日何時から行われるか分かるので、その E メールにある URL（インターネット上のアドレス）をクリックすると、ブラウザが動いて Zoom 社のページへ移り、もし初回の Zoom 使用であれば、Zoom アプリのダウンロードを求められて、氏名と E メール先の登録をし、氏名は海外とやる可能性があれば、ローマ字半角で。それが済むと、Zoom 画面に誘導され、Zoom アプリが「インターネットを使用した通話」について聞いてきたら、OK にする。Zoom 画面にある「ミーティングに参加」をクリックすると、ビデオ（動画）を使うか聞いてくるので使うとすると、遠隔集会の参加者の皆さんの顔の動画が見えて音声も聞こえるようになる。

自分の動画が見えない、自分の音声伝わらない場合は、Zoom の画面をマウスでたたくと左下にマイクとビデオのアイコン（小型の絵）があるので、それらに赤い斜線が入っていれば、マイクとビデオが働いていないので、それぞれのアイコンをマウスで1回クリックすると、自分の動画と音声も他の参加者へも伝わります。Zoom 画面の右上にもアイコンがあり、**Gallery View**（ギャラリービュー）は画面上方に参加者が小さく並び（多い場合はさらに右へ並ぶ）話し手が画面中央に大きく映るモード、それをクリックすると **Speaker View**（スピーカービュー）になり、参加者全体が画面いっぱいになり、話し手が黄色い枠で囲まれるモードになる。

自分の後ろが窓などで明るいと、カメラがそれに反応して、自分自身の動画が暗くなるので、窓のカーテンを閉めましょう。Zoom の黒い画面の中央下に3つのアイコンがあり、**Participants**（参加者）をクリックすると画面右上に参加者名のリストを表示し、**Chat**（おしゃべり）をクリックすると画面右下で「この人の説明は長すぎるよなあ！」とかの雑談を文字で入れられて、その雑談は Chat も見ている人には伝わり、**Share** はおもに後に述べる Zoom ホストが資料などを参加者全員に見せたい時に使われる。

会議が終わったら、画面右下の赤い文字「**Exit Meeting**」をクリックして、同意して、終了します。Zoom ホストをしたくない人は、以下は読む必要がありません。

## C. 練習 2 : Zoom ホストになってみる

今度はあなたが Zoom ホスト（遠隔集会の主役）になる練習です。ブラウザで

<http://zoom.us>

をアクセスすると Zoom 日本語のページになり、この画面上部の「サインイン」で Zoom の E メール先とパスワードを聞いてきて、「ミーティングをスケジュールする」で Zoom 集会名・開始日時を指定して、「保存」して、予約できます。開始時刻は、現在の日本語版では毎正時と 30 分になっている。その下の方の「ミーティングの招待状をコピー」をクリックして出るページで、集会名・開始時刻・（参加者がクリックできる）URL などをマウスでマークして、コピーして、それを参加予定の知人へあらかじめ E メールで送っておきます。

予約した開催時刻が来たら、1 分前にミーティングを開始して、参加者がアクセスして来るのを待ちます。参加者の顔と名前が見えたら、「参加許可」をクリックして、参加してもらいます。Zoom 画面の右側に参加者名と状況が見えるので、マイクが入っていなかったり、動画が出ていなかったりする人たちがいたら、声をかけて注意して、マイクも動画も入るようにしてもらいます。

ミーティング開催時間は、現在の Zoom 無料版では 40 分になっています。開始予定時刻は毎正時と 30 分になっているが、知人だけと練習しているので、開始時刻の 10 分前でも 15 分前にでも開始してよくて、ただしその時点から 40 分後には集会は切られてしまう。ミーティング参加を終わらせるには、画面右下の退出の赤い文字「**End Meeting**」をクリックして、同意します。

## D. 本番 : 遠隔集会を正式に開催する

Zoom 集会参加とホストを各 1 回経験したら、複数人が参加する遠隔集会を正式に主催してみましよう。様々な人たちが参加する集会は、やはり 1 週間前位に集会で使う資料も添付して通知した方がいいでしょう。また、集会 2 日前か前日にも、念のために同じ通知を出しましょう。

Zoom 無料版の 40 分の制限時間に対しては、集会の続編も続けられるようになっています。これには、集会を予約した際のページの下方に「ミーティングを編集」があるので、それをクリックした後出てくるページで「定期ミーティング」を選び、再実施は「固定時刻なし」としておいて、参加者へは「40 分で初回が自動終了しても、再度、同じ URL でログインしてください。」と説明しておけばいいです。

参加者の中には、奥さんまたは旦那さんの名前で参加してくる人もあり、それは参加者より先に連れ合いの人がその端末を使って Zoom ミーティングをしたのでしょう。端末名の略号みたいな名前で参加してくるのは、自分の名前を正式に登録しなかったので、端末の略号になったのでしょう。また、どうしても参加するのに技術的な問題を抱える人もいるので、これは全部 Zoom ホストが解決するのではなく、グループ内で技術に強そうな人にも助けを求めましょう。

集会では、ある人（たち）がマイクを占領しないように心がけ、みんなが万遍なく話せるようにしましょう。Zoom ホストの他に、**司会役**を正式に立てて、彼に従ってミーティングの主題からそれないように注意してもらうのも、いい方法です。また、画面右下に「**Share**」があり、集会通知で添付した資料を映して、資料をろくに見ないで顔を見せた参加者に、見せてもいいですね。

会議が終わったら、参加者名と要約を E メールで送った方がいいです。上の **B.** で述べた **Speaker View** のときの全員の写真をいくつか取っておいて（ノートパソコンならキーボードの「左下の **Fn**+右上の **Prt-Sc**」キーを押す）、それを添付するのもいいですね。また、主役に慣れて、もし高性能パソコン（**Core i5** 以上）を使っていたら、「**バーチャル背景**」（**Virtual Background**）機能を使って、自分が選んだ静止画または動画の前に自分の姿を浮かび上がらせて、他の参加者に見せる（見せつける？）という高級テクニックを見せるのも、面白いですね。

## E. Zoom とその他の遠隔集会ツール

日本では遠隔会議が最近始まったばかりなので、そこで一番使われている Zoom アプリ一辺倒の世界です。Zoom には有料版があり、例えば毎年 2 万円を払うと時間制限なく使えて、会社によってはそうして使っているところもあり、有料ユーザーの予備軍として無料 Zoom アプリを使わせるというのが Zoom 社のビジネスモデルなのを理解しておきましょう。Zoom は中国では、すでに 2020 年 5 月から有料版のみとなっているので、中国では有料版を使う人／会社が極端に少なかったのでしょうか、または日本でも将来そうなるのでしょうか。

**Cisco** 社の **WebEx** は Zoom と似ていて、これもいいアプリです。以前 **WebEx** で働いていた人が Zoom を作ったといわれていて、私が使った **WebEx** 無料版では参加者の E メール先を登録できて、集会予定は自動発送されるので、別便 E メールを **WebEx** ホストが手作業で送る必要がありません。**Microsoft Teams** 無料版／有料版を使う人／会社も多いです。

また、Skype、LINE、WeChat（微信）、Apple Facetime、Google Duoなどで、手軽に少人数の集会を動画付きでする人もいますね。

以上